

公益社団法人日本プロゴルフ協会

平成25年度 事業報告書

自：平成25年5月1日～至：平成25年12月31日

【公益目的事業】

公1「ゴルフの正しい普及ならびにゴルフ分野のスポーツ振興及びゴルフを通じた
社会貢献を行う事業」

1. ティーチングプロ資格認定事業

ティーチングプロ資格認定講習会はA級、B級の2階級を実施し、B級講習会については、新規にティーチングプロ資格取得を希望する者のためのB級（新規）講習会に加え、既存のC級資格取得者に対するB級（移行）講習会の2種類を実施した。

A級講習会は94名（PGA68名、LPGA26名）が受講し、PGAの受講者で講習会を修了した62名（内トーナメントプレーヤー1名）に対しては、平成26年1月1日付けでティーチングプロA級資格を認定する。

B級（新規）講習会は106名（PGA99名、LPGA7名）が受講し、PGAの受講者でレポート、検定に合格し、講習会を修了した者87名に対して入会セミナーを実施した。入会セミナー受講終了者は平成26年1月1日付けでティーチングプロB級資格を認定し、入会登録となる。

B級（移行）講習会は14名が受講し、講習会を修了した13名に対しては、平成26年1月1日付けでティーチングプロB級資格を認定する。

平成26年度PGAティーチングプロB級（新規）講習会受講希望者147名に対して、受講審査として書類審査及び実技審査（36ホールズストロークプレー）を実施し、96名が実技審査を通過した。

更に、実技審査通過者に対して面接審査及び筆記試験を実施し、合格した91名に平成26年度PGAティーチングプロB級（新規）講習会の受講を認めた。

尚、平成26年度講習会より、講習内容充実化のためのカリキュラム変更に伴い、前期1学期の講習を前年度に実施することとなったことから、本年12月に前期1学期講習会を実施した。また、ティーチングプロA級資格者を対象としたジュニア指導員セミナーを開催し、63名が受講。講習会を修了した62名に対してジュニア指導員資格を認定した。

2. トーナメントプレーヤー資格認定事業

トーナメントプレーヤー資格認証のためプレ予選2会場、1次プロテスト4会場、2次プロテスト4会場、最終プロテスト1会場の4段階で実施した。その結果、53名が合格し、ティーチングプロ会員3名を除く50名が、入会セミナーの受講を経て、平成25年12月20日付けでトーナメントプレーヤー資格を認定し入会登録された。

また、一般社団法人日本ゴルフツアー機構にて管轄するジャパンゴルフツアー賞金ランキングシード権取得者またはツアー競技優勝者で入会を希望する者（2名）については、入会セミナーを開催した。

3. プロゴルファーの資質向上事業

(1) 研修会

会員を対象として技術研鑽と資質向上を目的に、年間を通じて全国14会場にて研修会を実施した。

(2)PGAティーチングプロアワード

優れた指導理論や顕著な活動実績を持つプロゴルファーを表彰するPGAティーチングプロアワードは、本年度は15名が参加し、審査の結果、最優秀賞1名、奨励賞3名、功労賞3名を決定し表彰を行った。

(3)PGAマネジメントプログラム

会員の資質向上を目的として実施するPGAマネジメントプログラムとして、公益社団法人日本職業スキー教師協会及び公益社団法人日本プロテニス協会と合同で「プロスポーツティーチングセミナー」を実施して15名が参加した。

4. ゴルフの正しい普及のためのジュニア育成事業

(1)ジュニア育成プロジェクト

地方自治体とタイアップし、自治体が募集した主にゴルフ未経験の小学生に対して、3段階からなるカリキュラムによってゴルフを経験させていくジュニア育成プロジェクトは、本年度は東京都と静岡県の2ヶ所にて実施。

東京会場は述べ243名のジュニアが参加し、静岡会場は述べ116名のジュニアが参加した。

(2)キッズゴルフ体験会

当法人が主催または公認する競技において、開催コースの近隣の小学校を通じて募集した主にゴルフ未経験のジュニアに対してゴルフを体験させるキッズゴルフ体験会は、シニアツアー8試合でイベントを実施し、延べ158名のジュニアが参加した。

(3)春休み親と子&シニアゴルフレッスン会（平成25年3月実施事業）

春休み中の一定期間に、全国各地においてゴルフ練習場を利用して親子または祖父（祖母）と孫のペアでゴルフレッスン会を実施する春休み親と子&シニアゴルフレッスン会は、全国26会場で実施し、延べ636名が参加した。

(4)ジュニア育成地区活動への助成

地域におけるゴルフ普及と振興を目的に、地区ジュニア委員が企画、実施するジュニア育成活動に対して運営費を助成するジュニア育成地区活動においては、全国で36イベントが実施され、延べ2,228が参加した。尚、助成金の総額は2,277,667円。

(5)ジュニアゴルフスクールへのプロゴルファー派遣

公益財団法人日本ゴルフ協会ならびに関連団体が全国各地で実施するジュニアスクールに対して、当法人所属のプロゴルファーを述べ503名派遣した。

(6)日本ジュニアゴルファー育成協議会への支援

子供たちへのゴルフの普及、啓発事業、指導者養成事業などを行い、社会活動の推進及びスポーツの振興に寄与することを目的として、1999年にゴルフ関連10団体（公益財団法人日本ゴルフ協会、公益社団法人日本プロゴルフ協会、一般社団法人日本女子プロゴルフ協会、一般社団法人日本ゴルフツアー機構、一般社団法人日本ゴルフトーナメント振興協会、公益社団法人日本パブリックゴルフ協会、一般社団法人日本ゴルフ用品協会、公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟、一般社団法人日本ゴルフ場事業協会、全国高等学校ゴルフ連盟）によって創設された、NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会（JGC）の活動に対して以下の支援を行った。

①JGCが主催または協力するゴルフ体験会、ゴルフレッスン会等のジュニアイベントに対しPGA会員並びに事務職員を派遣した。

②助成金として150万円を支出。

5. ゴルフ分野のスポーツ振興のための主催競技開催事業

(1) 日本プロゴルフ選手権大会及び日本プロゴルフ選手権大会予選会

第81回日本プロゴルフ選手権大会 日清カップヌードル杯

開催日：平成25年5月16日(木)～19日(日)

場 所：総武カントリークラブ・総武コース(千葉県)

優勝者：金亨成

備 考：併せて予選会を全国7会場(1次予選6会場、最終予選1会場)にて実施

(2) 第52回日本プロゴルフシニア選手権大会 住友商事・サミットカップ

開催日：平成25年10月10日(木)～13日(日)

場 所：サミットゴルフクラブ(茨城県)

優勝者：渡辺司

(3) 日本プロゴルフグランド・ゴールドシニア選手権大会 ゴルフパートナーカップ

開催日：平成25年6月21日(金)～22日(土)

場 所：高坂カントリークラブ・米山コース(埼玉県)

優勝者：ゴールドの部 古市忠夫 グランドの部 初見充宣

備 考：予選会として関東・関西グランド・ゴールドシニア選手権大会を以下の通り実施。

関東プロゴルフグランドシニア選手権大会

開催日：平成25年4月25日(木)～26日(金)

場 所：雲雀ゴルフ倶楽部(茨城県)

優勝者：海老原清治

関東プロゴルフゴールドシニア選手権大会

開催日：平成25年5月23日(木)～24日(金)

場 所：ジャパンPGAゴルフクラブ(千葉県)

優勝者：田中文雄

関西プロゴルフグランド・ゴールドシニア選手権大会

開催日：平成25年4月25日(木)～26日(金)

場 所：新宝塚カントリークラブ(兵庫県)

優勝者：ゴールドの部 森本俊治 グランドの部 吉村金八

(4) 第15回日本プロゴルフ新人選手権大会 ゼロホールカップ

開催日：平成25年9月25日(水)～26日(木)

場 所：谷汲カントリークラブ(岐阜県)

優勝者：副田裕斗

(5) PGAティーチングプロ選手権大会及びティーチングプロ選手権予選会

第2回PGAティーチングプログランドシニア選手権大会

開催日：平成25年9月25日(水)～26日(木)

場 所：谷汲カントリークラブ(岐阜県)

優勝者：山下英章

第9回PGAティーチングプロシニア選手権大会

開催日：平成25年10月3日(木)～4日(金)

場 所：チェリーレイクカントリークラブ(三重県)

優勝者：竹下忠直

第15回PGAティーチングプロ選手権大会
開催日：平成25年10月23日（水）～24日（木）
場 所：青山高原カントリークラブ（三重県）
優勝者：吉岡達也
備 考：併せて予選会を3会場で実施。

6. ゴルフを通じた社会貢献及びゴルフ普及事業

(1)PGAフィランスロピー地区事業

地域のゴルフ普及、振興または社会貢献（チャリティ）を目的としたゴルフイベントを全国18会場で実施し、延べ1,284名が参加した。各地区で実施したイベントの内容により助成金額を決定し、総額5,847,492円の助成を行った。尚、本事業によるチャリティ金の総額は3,020,089円となった。

(2)障害者ゴルフ大会

本大会は障害者の方にゴルフを楽しんでもらう場を提供すると共に、障害者ゴルファーの技術向上を目指し、身体障害者を対象としたゴルフ競技会を10月8日（火）に若洲ゴルフリンクス（東京都）にて実施し、101名が参加した。

(3)国際交流事業

海外で行われるシニアの国際大会に選手を派遣すると共に、役員を派遣し、海外プロゴルフ協会との情報交換ならびに親善を図った。

本年度は以下の競技に選手ならびに役員、事務局員を派遣した。

- ・全米プロゴルフシニア選手権（5月日～日・米国） 日本選手4名が出場
- ・全米シニアオープン選手権（7月11日～14日・米国） 日本選手2名が出場
- ・全英シニアオープン（7月25日～28日・英国） 日本選手5名が出場

(4)広報事業

ゴルフ普及のための広報事業として、以下の事業を実施。

①公式ホームページの開設

公式ホームページを当法人の概要や活動状況、競技情報などを掲載し、広く一般に告知した。

②公式Facebook

公式Facebookは公式ホームページと連動して当法人の概要や活動状況、競技情報などを掲載し、広く一般に告知した。

③公式携帯サイトへのシニアツアー及びPGA資格認定プロテスト競技成績掲載

携帯サイト「The Golf」と提携し、当法人の公式携帯サイトとしてPGAシニアツアー競技及びPGA資格認定プロテストの組合せならびに成績を掲載した。

④PGAシニアツアー競技成績の報道機関への配信

共同通信社と提携し、共同通信社から競技成績を配信することにより、PGAシニアツアーの成績が新聞各紙に掲載されるよう図った。

⑤ゴルフフェア

社団法人日本ゴルフ用品協会が主催し、毎年2月に開催されるジャパングolfフェアに当法人の特設ブースを出展し、実施している事業の紹介、ゴルフレッスン会などを実施。

⑥競技記録の管理

シニアツアー及び1999年以前のレギュラーツアーの記録を管理し、一般ならびに報道機関などからの問い合わせ等に対応を行った。

(5) 出版事業

正しいゴルフ普及のため、当法人が長年の経験と実績に基づいて作成したゴルフ指導書（PGA基本ゴルフ教本、ゴルフ体操、ジュニア基本ゴルフ教本、ジュニア基本ゴルフ教本 みんなでゴルフ、ゴルフはじめてブック）の出版、販売を行った。

(6) ゴルフのルール及びマナーに関する研究調査事業

一般社団法人日本ゴルフツアー機構、一般社団法人日本女子プロゴルフ協会の3団体で「合同ルール研究会」を開催し、公益財団法人日本ゴルフ協会のゴルフルール担当者と共に、最新のルール裁定、ルールの変更点に対する解釈などについて協議して情報の共有化を図った。「合同ルール研究会」で得られた情報は研修会ならびにティーチングプロ講習会、入会セミナーなどで実施するルール講習において周知すると共に、その情報をもとに、当法人の競技特別規則（当法人が関係するすべての競技に適用）を作成して会員及び競技に参加するアマチュア選手に配布し、正しいルールの普及に努めた。

【収益事業】

収1 競技関係事業

1. シニアツアー事業

主催競技以外でPGAシニアツアー競技として開催を希望する競技（スポンサー競技）を公認し主管として管理を行った。また、1年間を通したツアー制度を実施し、公式賞金ランキングを作成。更に、シード資格（優先出場資格）を持たない選手に対して、出場優先順位を与えるためのシニアツアー予選会を実施した。

本年度、シニアツアー競技として実施された試合は以下の通り。

金秀シニア 沖縄オープンゴルフ トーナメント2013

開催日：平成25年4月19日（金）～20日（土）

場 所：喜瀬カントリークラブ（沖縄県）

優勝者：崎山武志

ISPS ハンダカップ 五月晴れのシニアマスターズ

開催日：平成25年5月31日（金）～6月1日（土）

場 所：九州ゴルフ倶楽部・八幡コース（福岡県）

優勝者：ブーンチュ・ルアンキット

～シニアを元気に!!～ KYORAKU MORE SURPRISE CUP 2013

開催日：平成25年6月7日（金）～8日（日）

場 所：涼仙ゴルフ倶楽部（三重県）

優勝者：室田 淳

第14回スターツシニアゴルフトーナメント

開催日：平成25年6月14日（金）～16日（日）

場 所：スターツ笠間ゴルフ倶楽部（茨城県）

優勝者：中嶋常幸

ISPS ハンダカップ フィランスロピーシニアトーナメント

開催日：平成25年7月11日（木）～12日（金）

場 所：箱根湖畔ゴルフコース（神奈川県）

優勝者：東 聡

ファンケルクラシック

開催日：平成25年8月16日（金）～18日（日）

場 所：裾野カンツリー倶楽部（静岡県）

優勝者：羽川 豊

ISPS ハンダカップ 秋晴れのシニアマスターズ

開催日：平成25年8月30日（金）～31日（土）

場 所：北海道ブルックスカントリークラブ（北海道）

優勝者：フランキー・ミノザ

コマツオープン2013

開催日：平成25年9月12日（木）～14日（土）

場 所：小松カントリークラブ（石川県）

優勝者：真板 潔

第23回日本シニアオープンゴルフ選手権競技

開催日：平成25年10月31日（木）～11月3日（日）

場 所：麻生飯塚ゴルフ倶楽部（福岡県）

優勝者：室田 淳

富士フィルムシニアチャンピオンシップ

開催日：平成25年11月7日（木）～9日（土）

場 所：ザ・カントリークラブ・ジャパン（千葉県）

優勝者：奥田靖己

いわさき白露シニアゴルフトーナメント

開催日：平成25年11月22日（金）～24日（日）

場 所：いぶすきゴルフクラブ開闢コース（鹿児島県）

優勝者：室田 淳

2. 各種競技事業

シニア後援競技、シニア特別協力競技、後援競技、協力競技などの名義を貸与し、競技委員を派遣して競技の管理を行った。

本年度は以下の競技が実施された。

【シニア後援競技】

第2回北関東シニアオープンゴルフ選手権大会（優勝：室田淳）

第1回 佐世保カップ 九州シニアオープンゴルフトーナメント（優勝：三好隆）

アサヒ緑健カップ第15回TVQシニアオープンゴルフ（優勝：藤池昇龍）

【シニアグローイング競技】

ISPS グローイング シニアオープン ハンダ熱血シリーズ第1戦（優勝：比嘉勉）

ISPS グローイング シニアオープン ハンダ熱血シリーズ第2戦（優勝：神谷浩一）

ISPS グローイング シニアオープン ハンダ熱血シリーズ第3戦（優勝：牛山正則）

ISPS グローイング シニアオープン ハンダ熱血シリーズ第4戦（優勝：菅原洋一）

ISPS グローイング シニアオープン ハンダ熱血シリーズ第5戦（優勝：久保勝則）

【グラウンド・ゴールド公認競技】

日本グラウンドシニアオープンゴルフ選手権 ユニデンクラシック

（優勝：ゴールドの部 新井規矩雄、グラウンドの部 吉村金八）

【後援競技】

第30回記念 岐阜オープンクラシック2013（優勝：リチャード・テイト）
奈良県オープンゴルフ選手権（優勝：山下和宏）
北陸オープンゴルフトーナメント2013（優勝：小田孔明）

【特別後援競技】

ザ・レジェンド・チャリティプロアマトーナメント（優勝：池田勇太）

【協力競技】

2013兵庫県オープンゴルフトーナメント（優勝：富村真治）

3. 共同主催競技事業

一般社団法人日本ゴルフツアー機構（JGTO）及び一般社団法人日本女子プロゴルフ協会（LPGA）との共同主催により、Hitachi 3 Tours Championship 2013を実施し、本年度はJGTOチームが優勝した。

収2 その他収益事業

1. 商標関係事業

「PGA」や「PGA TOUR」などの商標を管理し、企業やゴルフ場などに商標を貸与する。

本年度はジャパンPGAゴルフクラブ（千葉県）に対し「ジャパンPGA」の名称を継続して貸与した。

また、JCBカードと提携し会員となった方に対して、プロゴルファーとの交流を中心としたサービスを展開するファンクラブを組織し、ゴルフの普及を図った。

【その他事業】

他1 会員事業他

1. 会員のための競技はチャレンジ競技は1試合、フレンドシップ1試合、シニア選考会1会場、プロテスト選考会1会場、グランドシニア選考会1会場を実施した。

2. 会報誌「PGAレポート」は4月、8月、12月の3回発行し、新規入会者へのウェア等の配布、会員証の発行、会員名簿の発行、手帳の配布、ルールブックの配布、慶弔費の支給、公認ゴルフスクールの認定など、会員に対するサービスを行った。

3. 日本プロゴルフ殿堂に関する事業

プロゴルフ界の発展に貢献したプロゴルファーを表彰することを目的として設立された一般財団法人日本プロゴルフ殿堂の活動支援を行った。

4. PGA感謝の夕べ

当法人の事業への協力に感謝の意を表し、協賛社、マスコミ、関連団体などを招待したパーティーを12月16日に開催し、約180名が参加した。

【その他】

本年8月、報道機関からの質問に端を発し、当協会の現職の理事が暴力団関係者と交際していたという事実が発覚した。

当該理事からは理事、代議員の辞任届が提出され、9月10日に開催した臨時理事会においてこ

れを受理し、更に、顧問弁護士、監事からなる調査委員会の調査結果を踏まえ、懲罰諮問委員会にて懲罰の検討を行い、最終的に9月17日の定例理事会において8ヶ月間の会員資格停止処分の懲戒処分とすることを決議した。

(資格停止期間については、6ヶ月経過後に暴力団排除への取り組みの姿勢など、本人の改悛の状況について九州地区から報告を受け、理事会において総合的に判断した上で期間を短縮することができるものとする事とした。)

しかしながら、前述の理事の懲戒処分決定後、現職の副会長から、前述の理事が当該副会長と共に他にも暴力団関係者と交際していた旨の申告があり、調査委員会が調査した結果、ゴルフプレー2回、飲食1回の実事が確認された。

当該副会長からも理事、代議員の辞任届が提出され、10月5日に開催した臨時理事会においてこれを受理し、その後、調査委員会の調査を踏まえ、懲罰諮問委員会にて懲罰の検討を行い、10月28日に開催された定例理事会において両名を退会処分とすることを決議した。

上記の不祥事を踏まえ、10月28日の定例理事会において、再発防止策として以下6項目を骨子とする「暴排徹底宣言」を実施することが決議されると共に、信頼回復のため、次回の社員総会までに理事・代議員が総辞職した上で出直し選挙を実施する方向性が決議された。

暴排徹底宣言の骨子

1. 出直し選挙の実施
2. 倫理規程違反に対する自己申告の推奨
3. 内部通報制度の特別措置
4. 特別聞き取り調査委員会の設置
5. 暴追センターが実施する責任者講習の受講の徹底
6. 倫理規程の改正

暴排徹底宣言のうち、「自主申告の推奨」「内部通報制度」「特別聞き取り調査委員会の設置」については具体的に実施する旨を11月に全会員に告知し、「会員倫理規程の改正」については、12月18日に開催した定例理事会において、「会員は暴力団または暴力的あるいは詐欺的行為その他違法不当な行為を組織的、常習的に行うおそれある者と接触した場合ならびに、他の会員が接触した事実を知った場合には、直ちにPGA本部または内部通報担当者に通報しなければならない。」との条項を追加することが決議された。

「暴追センターが実施する責任者講習の受講の徹底」については、どのように実施していくかを、今後検討することとしている。

「出直し選挙の実施」については、本年12月31日をもって全理事・全代議員が総辞職し、新たに選ばれた代議員のもと、平成26年2月24日の定時社員総会において新しい理事を選任することとしている。

尚、定款第26条第2項の規程により、新理事が選任される日までは、従前の理事が職務を遂行する。

以上